

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科キャビンアテンダントコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習 I	「自律」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。またSGDsを通して自ら問題発見脳力・問題解決能力を身につけ、積極的に学ぶ(マネブ)環境を作り、総合学習成果の発表・実践の場とする。	1通	148	○		△
○			志学 I	教育理念と学生行動指針に沿い、行動の仕方、心の持ち方、あるべき姿を深く学び考え、社会から必要とされ続ける“人財”となるべく基本的思考、行動習慣を身につけていく。	1通	24	○	△	
○			エアライン概論 I	国内・国際を含め航空会社についての業務知識の習得・演習・実習および企業連携授業においては企業の方から直接的に知識・技術習得の機会とする。	1通	176	△	○	
○			ホスピタリティコミュニケーション	社会人としての最低限必要な知識・マナーの習得を目的とする。企業で必要とされる電話応対・立ち居振る舞いを身に付ける事などスキルの向上を図る。救急救命法の資格取得も目指す。	1通	30	○	△	
○			実用英語 I	世界公用語としての英語の基礎として文法を主に身に付ける事を目的とする。英文法・英文読解・英作文等の基本を学び、英語における総合的な基礎を学ぶ。	1通	332	○	△	
○			ビジネス実務 I	社会人として必要とされる資質や職務知識・一般知識を習得する。また実技においては社会において必要不可欠なPCスキル・マナー接遇の実践を行い、基礎を身につける。	1前	154	○	△	
○			就職実務 I	就職活動で大きな要素を占める面接スキルの向上を図る。面接者の意図を理解し、企業の想いを知る事でよりよいキャリア形成を育む。	1通	142	△	○	
1年次合計				単位時間	1,006 時間				

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科キャビンアテンダントコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習Ⅱ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	2通	102	○		△
○			海外語学研修	日本国内において習得した英会話力を海外提携校において更に実践力にまで高める事を目的とする。	2通	210	△		○
○			志学Ⅱ	何のために“生きるのか”“学ぶのか”“働くのか”を、社会との繋がりの中で自身の生きる姿勢や志について考え、将来の「やりがい」に繋がることを見出し、準備をする。	2通	32	○	△	
○			エアライン概論Ⅱ	客室乗務員に必要な資質・知識を習得する。また企業連携において航空会社職員を講師に招き、業界で活かすため実践力を身につける。	2通	60	△	○	
○			実用英語Ⅱ	世界公用語としての英語の基礎として文法を主に身に付ける事を目的とする。英文法・英文読解・英作文等の基本を学び、英語における総合的な基礎を学ぶ。	2通	346	○	△	
○			ビジネス実務Ⅱ	国際儀礼や世界標準マナーとしての国際的なマナーやエチケットを学び、文化や宗教の違いを理解し、世界共通のマナールールを習得する。マナープロトコール検定取得を目指す。	2後	58	○	△	
○			ホスピタリティコミュニケーション	客室乗務員に必要な救命救急法を学び、資格取得を目指す。また人に伝える方法としての話し方・伝え方についてプロのアナウンサーの方から学ぶ機会とする。	2通	16		○	
○			就職実務Ⅱ	就職活動で大きな要素を占める面接スキルの向上を図る。面接者の意図を理解し、企業の想いを知る事でよりよいキャリア形成を育む。	2後	124	△	○	
2年次合計				単位時間	948 時間				

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科キャビンアテンダントコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
○			総合学習Ⅲ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	3前	92	○		△
○			志学Ⅱ	何のために“生きるのか”“学ぶのか”“働くのか”を、社会との繋がりの中で自身の生きる姿勢や志について考え、将来の「やりがい」に繋がることを見出し、準備をする。	3前	36	○	△	
○			実用英語Ⅲ	聞く「Listening」書く「Writing」を中心に英語力のさらなる向上に努める。TOEIC Readingで肝となる時間管理と解答スピードを上げる。解き方のポイントを指導しながら、問題演習の実施を行う。	3通	180	○	△	
○			中国語	中国人旅行者対応力の基礎を身に付ける事を目的とする。インバウンド増加に伴い、海外よりの渡航者対応力の向上を図る。	3前	42	○	△	
○			沖縄観光	郷土の歴史・文化を知り渡航者へ伝えるプレゼンスキルの取得を目的とする。知識のみならず見聞・体験し実践を図る事で自身のルーツを感じ発信していく力を養う。	3前	42	○	△	
○			ビジネス実務Ⅲ	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えの他、一般教養や社会的な常識、社会制度などの知識も習得する。	3前	46	○	△	
	○選1		就職実務Ⅲ	就職活動で大きな要素を占める面接スキルの向上を図る。面接者の意図を理解し、企業の想いを知る事でよりよいキャリア形成を育む。	3前	106	△	○	
	○選2		入社前トレーニング	進路決定者に関しては就職先にて必要不可欠な一般常識・専門用語を習得する。	3前	44	○	△	
	○選2		イメージメイキング	職業をイメージし、その外見・素養・人間性を磨く事をチームで取り組み、メイク、ヘア、ファッションなどの演出を加える事でより社会人としての意識をつけ、立ち居振る舞いを行う。	3前	44	○		△
	○選2		表現力	言語やメディアを通じて考えや思いを伝える能力を養います。文章やプレゼンテーションを通じて情報を的確に伝達し、コミュニケーション能力を向上させます。	3前	18	○	△	

別表1

教育課程及び授業時数

(商業実務専門課程エアライン科キャビンアテンダントコース)									
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
	○選3		総合学習Ⅲ	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。	3後	160	○		△
	○選3		実用英語Ⅲ	聞く「Listening」書く「Writing」を中心に英語力のさらなる向上に努める。TOEIC Readingで肝となる時間管理と解答スピードを上げる。解き方のポイントを指導しながら、問題演習の実施を行う。	3後	30	○	△	
	○選3		沖縄観光	郷土の歴史・文化を知り渡航者へ伝えるプレゼンスキルの取得を目的とする。知識のみならず見聞・体験し実践を図る事で自身のルーツを感じ発信していく力を養う。	2後	22	○	△	
	○選3		中国語	中国人旅行者対応力の基礎を身に付ける事を目的とする。インバウンド増加に伴い、海外よりの渡航者対応力の向上を図る。	2後	22	○	△	
	○選3		ホスピタリティコミュニケーションⅡ	挨拶・自己紹介・日常会話程度の手話でのコミュニケーションを図る。また簡単な接客会話での手話表現ができる。	3後	30	○	△	
	○選3		ビジネス実務Ⅲ	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えの他、一般教養や社会的な常識、社会制度などの知識も習得する。	3後	80	○	△	
	○選4		チャレンジインターンシップ	講義等で得た知識を実践の場で体験を行う事を目的とする。就職を意識し企業観察を同時に行い、就職後をイメージした研修を実施する。	3後	344			○
3年次合計				単位時間		888	時間		

※ 選1若しくは選2を選択

※ 選3若しくは選4を選択

合計 29 科目	単位時間	2,842 時間
----------	------	----------